



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場会社名 福井コンピュータ株式会社

上場取引所 東

コード番号 9790 URL <http://www.fukuicompu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小林 徳也

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 林 治克

TEL 0776-53-9200

四半期報告書提出予定日 平成23年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,697	7.4	195	37.1	209	38.6	110	5.8
23年3月期第1四半期	1,581	8.5	142	253.2	151	182.3	104	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 107百万円 (30.5%) 23年3月期第1四半期 82百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.61	—
23年3月期第1四半期	9.08	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
24年3月期第1四半期	7,749		5,712		73.4
23年3月期	7,929		5,720		71.8

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 5,688百万円 23年3月期 5,694百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,415	9.4	254	18.9	269	14.1	153	35.6	13.32
通期	7,054	6.9	705	10.8	735	10.7	417	44.6	36.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	11,500,000 株	23年3月期	11,500,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	11,831 株	23年3月期	11,831 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	11,488,169 株	23年3月期1Q	11,488,169 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
4. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(4) セグメント情報等 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災で落ち込んだ経済活動が、供給網の復旧が進み、正常化しつつあります。

このような経済状況のもとで、当社グループ（当社及び連結子会社）における当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高1,697百万円（前年同期比7.4%増）、営業利益195百万円（前年同期比37.1%増）、経常利益209百万円（前年同期比38.6%増）、四半期純利益110百万円（前年同期比5.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①建設業系CAD事業

建築CADソフトウェア

長期優良住宅の普及促進、住宅エコポイント制度により、既存顧客への関連オプションプログラムの販売が堅調に推移しました。住宅関連向けクラウドサービス、BIM（Building Information Model）商品も前年同期から着実に伸長し、大口の受託開発も行いました。この結果、建築CADソフトウェアの売上高は916百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

測量CADソフトウェア

測量業向けに他社システム使用ユーザーに対する買換えキャンペーン、土地家屋調査士業では2月から実施されている新オンライン申請対応の販売促進策を実施しました。しかしながら、測量業において、東日本大震災、統一地方選の影響による公共事業の発注遅れもあり、売上が伸び悩みました。この結果、測量CADソフトウェアの売上高は340百万円（前年同期比6.8%減）となりました。

土木CADソフトウェア

公共工事における総合評価落札方式の本格導入が進む中、主力商品の「EX-TREND武蔵2011」を活用した情報化施工への積極的な支援と工事成績向上への取組提案を進めてまいりましたが、公共工事の減少により新規売上が減少しました。この結果、土木CADソフトウェアの売上高は228百万円（前年同期比14.7%減）となりました。

これらの要因により売上高1,633百万円（前年同期比5.0%増）、営業利益は273百万円（前年同期比2.4%減）となりました。

②ITソリューション事業

報道機関向け出口調査システム「ワンクリックカウンタ」と宿泊施設向けインターネット予約システム「てなわん宿泊予約システム」の改良と拡販に努めてまいりました。出口調査システムは、4月の統一地方選が東日本大震災の影響で一部延期になったものの堅調に推移しました。宿泊予約システムは、旅行業界が低迷し利用は低調に終わりました。この結果、売上高63百万円（前年同期比154.1%増）、営業利益は24百万円（前年同期は営業損失6百万円）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、7,749百万円となり、前連結会計年度末より179百万円減少しました。主な要因は、売上債権の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成23年5月9日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,124	2,284
受取手形及び売掛金	1,410	1,127
商品及び製品	23	24
仕掛品	18	2
原材料及び貯蔵品	30	35
繰延税金資産	168	79
その他	67	77
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	3,835	3,625
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,806	1,781
土地	1,147	1,147
その他（純額）	67	67
有形固定資産合計	3,021	2,995
無形固定資産		
のれん	22	40
その他	77	105
無形固定資産合計	100	145
投資その他の資産		
投資有価証券	582	575
繰延税金資産	53	53
その他	349	365
貸倒引当金	△13	△11
投資その他の資産合計	971	982
固定資産合計	4,093	4,124
資産合計	7,929	7,749

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43	44
未払法人税等	183	16
前受金	1,176	1,300
賞与引当金	173	86
役員賞与引当金	20	5
その他	546	518
流動負債合計	2,144	1,971
固定負債		
長期未払金	43	43
その他	21	22
固定負債合計	65	65
負債合計	2,209	2,037
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,631	1,631
資本剰余金	2,095	2,095
利益剰余金	2,020	2,015
自己株式	△5	△5
株主資本合計	5,742	5,737
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△48	△49
その他の包括利益累計額合計	△48	△49
少数株主持分	25	24
純資産合計	5,720	5,712
負債純資産合計	7,929	7,749

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	1,581	1,697
売上原価	223	340
売上総利益	1,357	1,357
販売費及び一般管理費	1,215	1,161
営業利益	142	195
営業外収益		
受取配当金	2	2
受取手数料	2	2
償却債権取立益	—	10
その他	5	2
営業外収益合計	10	16
営業外費用		
貸貸費用	—	2
その他	1	0
営業外費用合計	1	2
経常利益	151	209
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	24	—
その他	1	—
特別損失合計	26	—
税金等調整前四半期純利益	127	209
法人税、住民税及び事業税	13	9
法人税等調整額	8	90
法人税等合計	21	100
少数株主損益調整前四半期純利益	105	108
少数株主利益又は少数株主損失(△)	1	△1
四半期純利益	104	110



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	105	108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△23	△1
その他の包括利益合計	△23	△1
四半期包括利益	82	107
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	80	108
少数株主に係る四半期包括利益	1	△1

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリュー ーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,556	25	1,581	—	1,581
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,556	25	1,581	—	1,581
セグメント利益又は損失(△)	280	△6	274	△131	142

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△131百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設業系 CAD事業	ITソリュー ーション 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,633	63	1,697	—	1,697
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,633	63	1,697	—	1,697
セグメント利益	273	24	297	△102	195

(注) 1. セグメント利益の調整額△102百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。